

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年3月20日

事業所名 放課後等デイサービス・児童発達支援 HIKARIE

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13		一人一席座れる席を確保し、集中して学習できる環境作りをしています。学習するスペースと、その他の活動するスペースの区別ができる環境があり、また人数やお子さんの実態によって活動部屋を変えて支援をすることができています。	
	2	職員の配置数は適切である	13		規程に基づき配置しております。基準の人数を満たしたうえで、支援にあたっています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	13		完全にバリアフリーではありませんが、利用者様の実態に配慮した形に整備されております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13		活動の「ねらい」を明確にし、職員に周知しています。また、評価をすることで必要なものとそうでないものの判断をしています。	今後、さらに全職員でスキルアップしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13		評価表に出た意見や、半年に一度行う懇談で直接いただいた意見を反映し、業務改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13		ホームページで公開をし、保護者様にも見ていただけるようにしています。	今後も継続して公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		13		第三者による外部評価は実施しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13		月に1度、職員会の後に特別支援教育について全員で学習する機会を設けています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13		実態を十分に把握したうえで、課題を捉え、目標、支援内容を考えて支援にあたっています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13		アセスメントシートを使用し、実態を把握し支援にあたっています。	今後、さらにどのようなアセスメントツールが最適か検討していく予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	13		グループで話し合い計画しています。活動の目的をもち、活動内容を立てることができました。職員間で同じ目線で目的意識をもつと共に、一人一人のお子さんへの課題、目的を考え、共通理解した上で計画、実行しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13		課題点等をいろいろなスタッフから出してもらい、活動を決めています。様々な角度から意見が出るので、幅広い活動内容を実施することができています。習慣にさせたい事はルーティン化し、その他の活動については利用者から希望を聞いたり、他事業所の活動を参考にしたり、会議でアイデアを出しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	13		それぞれにあつた活動内容を事前に計画し、実施しています。休日、長期休暇では、事業所外での活動も実施し、余暇支援につなげています。活動の目的を明確にし、保護者や利用者に開示するように心がけています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	13		毎日どちらの活動も行っています。個別ではそれぞれの実態に応じた内容を、集団では付けてほしい力をねらった内容を取り入れています。利用メンバーに合わせて集団活動と少人数のグループ活動、個々の学習等のスケジュールを毎日作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13		毎日、前日もしくは当日に打ち合わせを実施し、個々に合わせた適切な支援、一貫した支援が行えるよう取り組んでいます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13		帰りの送迎後、もしくは翌日にお子様の様子や支援内容の話をして共通理解を図っています。休みの職員は出勤日に共有するように努めています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13		日々記録に残し、特記事項はグループ会で共有しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13		半年に一度見直すことで、できるようになったことや課題点を改めてスタッフ、保護者間で共有しています。	

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	13	自立に向けた活動、創作活動、余暇支援にかかわる活動等、それぞれの実態に合わせて支援を行っています。
----	---------------------------------	----	---

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	児童発達支援管理責任者、管理者、担当者での会議を行っています。その中で、保育士や特別支援学校の免許を有する職員で話し合うことで、各自の専門性を活かしながら児童の状況にあった支援方法を計画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	13	各学校により、直接連絡を受ける事項と保護者様から連絡が受ける事項が異なるため、双方で対応し適切に行っています。	今後も、学校、保護者双方と連携して、情報を共有していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	13	医療的ケアを必要とするお子様は来所されておりません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	13	児童発達支援事業所から引き継ぎをし、支援にあたっています。	保育所や幼稚園等とも連携をとれるように取り組んでいます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	13	該当する利用者様がありません。	今後を見据え、どのような流れで移行していくか検討していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	研修は現在行っていませんが、児童発達支援センターとお互いに情報を共有する機会をもっています。	今後も常に連携を図ることができるように努めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	13		現在はコロナウイルス感染症対策ということもあり、必要以上の交流は控えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	13		協議会との情報共有は現在のところ行っていません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	日々、連絡帳や送迎を通して情報共有を行っています。また半年に一度懇談を実施して成果や課題等について共通理解を深めています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	13	ペアレント・トレーニングの研修に機会は本年度はコロナ禍である為、開催しておりません。しかし、懇談や送迎時に家庭や学校の様子を聞く中で、保護者が不安に感じていることや悩みを聞き、解決に向けた方法を一緒に考えることができました。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	契約時にそれぞれの書類に対して、一つひとつ丁寧な説明をすることを心がけています。質問があった際は、その都度対応しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	その都度、まずは保護者様の話を聞き、そのうえでその場で答えたり、一度持ち帰り他のスタッフと相談してから回答したりしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	イベント時に、保護者様へボランティアを呼びかけ、保護者様同士で交流する機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	保護者様からご連絡があった場合は、当日中に対応し、善処するよう周知しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	月に1回通信を発行しているとともに、連絡帳に定期的に活動の様子の画像を貼り付けています。毎月の通信では、保護者様に全グループの活動内容を写真とコメントを添えてお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	13	鍵のかかるロッカーに保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	子どもに関してはイラストや文字を使って視覚的に意思疎通できる環境を設定したり、子どもの意思表現を見逃さない職員の意識や子どもの情報交換を大切にしたりしています。保護者に関しては毎回の連絡ノートを通して活動内容や様子を伝えたり、保護者の方に事業所に来ていただき、活動の様子を写真や動画で見えていただける場を提供したりしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	13		コロナのため、外部の方の出入りを中止しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13	各種マニュアルは制作されており、施設玄関に設置してあります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	法令に準じて避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	定期的なチェックシートを通して職員同士でお互いに確認しています。	
	41	このおまは物口には心をとり身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13		現在そのような利用者はいませんが、今後保護者様と相談し了承を得たうえで、個別支援計画に反映させ支援にあたっていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	契約時にアレルギー調査を行い、どんなアレルギーがあるかを把握し、全スタッフで共有しておやつ等配慮しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	ヒヤリハットが起こった時点で、報告し、当事者が事案を作成します。それを全職員に回覧し、再発防止に努めています。	